

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675700100
法人名	有限会社 エミ企画
事業所名	グループホーム くりの (2階)
所在地	鹿児島県始良郡湧水町米永181-1 (電話) 0995-74-1220
自己評価作成日	平成 27年 4月 21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年5月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

目の前には、栗野岳の山々や川内川があり自然に恵まれた環境に位置しています。2階へ続く階段は、温もりのある一枚板を使用し、緩やかに移動しやすい作りになっています。敷地内には、多目的ホール「ふるはうす」があり、誕生会や敬老会などを行っております。外部からの慰問を呼びかけ地域への開放を行っております。家族会で要望のあったエレベーターも前年度設置し、車椅子の利用者様も外への散歩の機会が多くなり、季節に応じた活動の幅が広がっております。職員の学ぶ意欲、よりよいケアを重視し、「自分が学び伝えたい事」をテーマに勉強会を計画し、ホーム内研修を充実させております。又、外部研修などへも参加しております。基本理念、活動目標の理解に努め、スタッフ間で互いに声を掛け合い、自然と笑顔のあふれる対応を心掛けております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員会議や、毎朝の朝礼時に皆で唱和し、よりよいケアにつながるように、理念の共有と実践を図っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に積極的に参加し、散歩や図書館への外出の際は、挨拶や会話を楽しんでいる。ホームの多目的ホールを開放し、地域の方が、気軽に立ち寄れる場として呼びかけている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生の体験学習受け入れ、スタッフは認知症サポーター講習受講の機会を生かし、地域社会へ認知症の理解、アピールに努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに開催し、運営体制・家族からの苦情・提案事項・事故について報告し、意見を頂きサービス向上に活かしている。ご家族の協力を得て、行事弁当を作ってもらったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	町主催の研修、地域包括支援センターの研修に参加したり、ホームの敬老会に参加を呼びかけ、指導や協力・支援を頂いている。認知症サポーター講習開催などの協力をもらい、連携を図っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	昼間は、施錠せず見守りに努め安全で開放的な暮らしを支援している。身体拘束廃止委員会で、計画を立て職員会議の中で担当スタッフが研修を行っている。事故防止の為に身体拘束については一時的、代替がない、生命の危険など十分な説明を行い同意書を頂くようにしているが、現在該当者なし。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議、ケア会議などで勉強会を開いており防止に努めている。身体的のみならず、言葉の虐待についても事例を用いて勉強する機会があり防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在の所、必要とされる利用者はいない。外部研修などに参加し、学ぶ機会を持っている。研修後に、ホーム内研修でも勉強し全スタッフで理解につなげている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時の契約書や、重要事項説明書を読み合わせしながら確認作業し疑問点や不安等質問に応じ、納得や理解に努めている。又、改正後も随時ご家族に説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居時に、利用者や家族が職員や、第三者に意見や要望を表せる方法を説明し、日頃の面会時も、気軽に言ってもらえる雰囲気作りを心掛けている。又、その時に、お答え出来ない時は後日報告している。意見要望等は職員会議で全スタッフと話し合い運営に反映している。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議の時に、意見要望など話す機会がある。又、代表者は年2回個別に職員の意見や提案を聞く機会を設けている。管理者は、日常業務の中で職員と意見交換を行い、代表者と話し合い運営に反映している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者は、個々の職員の勤務状況や実績、意欲など代表者に報告し、互いにやりがいのある働きやすい環境を整え処遇改善に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修は、個々の希望に応じて参加調整を行っている。又、スタッフからも、「自分が学び伝えたい事」をテーマに挙げホーム内研修を計画し職員の意欲向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>町主催の会議への参加や、外部研修会などで知り合った他GHの管理者を通じて意見交換を行い質の向上を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始の段階では、なかなか本人からの困りごと、要望などは見られないが、日常の会話から少しずつ本人の望む生活、不安ごとを聞き取り関係性を築いている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>開始前の面接で、家族の困り事、不安要望を聞き取り安心出来る関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族から要望を十分に聞き取り、状況を把握した上で残存能力を十分に活かす事が出来るようケアプランを作成をしている。説明時にも、不足や要望は無いかな、修正可能な事を説明し納得出来る段階で同意を頂いている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の出来る事、出来ない事、したくない事を見極め「もし利用者が私だったら、家族だったら」と言う思いを念頭に置いてケアにあたっている。理念にそった家族の一員であるという認識を持っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、各家族にお便りを出したり、3ヶ月に1回ホームの新聞を出し、近況報告を行っている。面会時には、スタッフも加わり話をしたり、本人と家族の時間も作るようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	不定期ではあるが、図書館に出かけたり、行きつけの美容師がカットに来てもらえるよう手配している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	天気の良い日は、テラスでお茶会をしたり、一緒に体操をしたり関わりを持てるよう努めている。関わりを持つ事が難しい利用者様に対しては、スタッフが近くについて話をしたりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時は、お見舞いに行ったり亡くなられた際は、お通夜やお葬式に参列している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で、表情や言動・行動から利用者の思いや意向の把握に努めている。本人の出来る事、出来ない事、したくない事を確認しながら支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に生活暦など家族からも情報収集している。その後も、会話の中のキーワードを把握し、家族に継続して情報収集している。それに応じて援助している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや連絡帳などで、スタッフ間の連携を密にし、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の生活暦などからも情報収集し、本人・家族の意向確認。主治医からの意見を元に、ケア会議等で協議し介護計画を作成している。状況が変化した時は、現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は、様子が分かるように細かく残している。重要事項について、連絡帳・カンファレンスノートなどへも記入、申し送りを徹底し、情報共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者、家族の要望等を十分に聞き取り、日々の変化から予測される事をお伝えし不満の生じないケアを心掛けている。又、その時の困り事に応じた支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行政や近隣の顔なじみ、町議の方々に相談したり、提案を頂きながら一人一人の生活を支えている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。ホーム協力医の、眼科・内科それぞれ月1回の往診となっている。体調異変時には、その時の状況に応じて病院受診・往診など必要な支援を行い、結果はその都度ご家族へ報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日、午前午後でバイタルサイン測定し、異常の早期発見に努めている。日々の気づきで問題がある場合は毎日の申し合わせでスタッフ間で情報共有し、病院受診など行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、病院関係者と情報交換を行い、家族・病院と話し合い、早期退院に向けての働きかけをし、それに対する対応が出来る事をお伝えし、早期退院に繋がった例が多い。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に終末期や重度化に伴う対応の指針を家族に説明し同意書を貰っている。又、そのような状態になった時、再度意思確認し、全職員が方針を共有し支援している。看取りの事例もある。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルに沿って対応している。又、避難訓練時に応急処置、応急手当、心肺蘇生法について指導を受けている。ほとんどのスタッフが、普通救命講習受講している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防の指導の下に昼・夜間想定避難訓練を実施している。隣接の施設へも呼びかけ緊急時の応援要請のお願いをしている。緊急時に備えた、食料品の備蓄も確保している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	肌を露出する場面、入浴や排泄など羞恥心に配慮している。案内の際は、本人に伝えるように耳元で話しかけ、プライドを損ねない声掛けを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の表情や行動を観察し、危険でない限りは、本人の意向を尊重するよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	笑顔で楽しく過ごして頂ける様、本人の表情など状況をみて役割を持って過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様と一緒に、その日の洋服を選んで頂いたり、整髪・髭剃りなど自分で出来る部分は、ご本人さんにして頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜などの話や、得意料理の話題にしたりしている。野菜の皮むきや、材料を混ぜる、味見、片付けなど一緒に行っている。又、行事食など彩の工夫をしながら目で見て楽しんで頂けるような工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量を把握し、刻み食・ミキサー食・お粥・トロミなど使用しながら、個々に飲食しやすい形態で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯の洗浄やうがいをしている。就寝前は、義歯洗浄剤にて消毒。うがいの出来ない方については、口腔ウェットタオルなどで口腔内の清潔保持の支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターン、習慣を活かし全利用者をトイレへ案内し、トイレでの自然排尿を促している。又、自身で腹圧が掛けられない方については、腹部マッサージなどを行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、牛乳やヨーグルトなどの乳製品を摂っている。腹部マッサージや水分を多く摂っている。それでも出ない時は、ホーム看護師や、かかりつけ医に相談し服薬コントロールを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は24時間対応できる設備を活用。入浴日に、体調不良や、病院受診、外出がある時、又、ご本人様の意に添わない時は、時間や日を替えて入って頂くようにしている。可能な限り浴槽内に入って頂くことを前提に、状況に応じて2人介助にて行う場合もある。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣や、口腔ケア、更衣時間に合わせた安眠をしてもらい、日中、利用者様の体調や希望により休息をして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	生活記録に、薬の情報提供書をとじ、いつでも確認出来る状態にしており、症状の変化などあった場合は、ホーム看護師や主治医、かかりつけの薬剤師に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活力を活かした役割、作業やお手伝いを一緒に行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節を感じていただけるような行事計画を立て外出を支援している。本人から訴えがあった時は、家族への意向を伝え外出などされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現金管理については、ご家族にお願いしホーム内での管理は行っていない。希望の物の購入については、立替を行い後日家族へ請求している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望で色塗りした塗り絵をコピーしたり、切手を購入し家族へ送るなど、本人の要望に添えるように努めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に合わせた壁紙を貼ったり、一緒に作った作品を飾ったり季節感を感じて頂いている。共同空間の清潔に配慮している。通行の妨げにならないように、障害物を置かない、その日の気候に応じて換気、採光、温湿度管理等に気配り行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにソファを2つ設置。車椅子の方もソファへ移って頂いたり、動ける方も自分の好きな所に座ったり、テーブル席で過ごしたい方がいらっしたり、思い思いの場所で過ごして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の掃除などは、出来るだけ本人と行い、使いやすい所に物を置いたり確認をしている。シーツ、布団干しはチェック表を用いて、定期的に行っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>椅子やコードなど危険物は、使用した後は、すぐに片付けしたりし安全に配慮している。テラスもあるため、その方に合わせて外気浴をしたり楽しめるような工夫をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して，地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり，事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない